

平成29年度 青森県河川砂防系職員 期待のニューフェース



新人として謙虚に礼儀を欠くことなく仕事をしていき、1日でも早く一人前として成長できるように毎日頑張っています！

河川砂防課 河川・海岸グループ 後村 晃基



常に向上心を持って積極的に職務に取り組み、日々成長できるように頑張ります。よろしくお願いします。

河川砂防課 砂防グループ 笹 信太郎



はじめまして、長内です。新採用の今の気持ちをいつまでも忘れないようにがんばります。よろしくおねがいします！

東青 地域整備部 長内 良樹



公務員になりたいと願ったあの日から、もう12年が経ちます。「夢は叶いましたか？」その問いに、胸を張って歩いていきたいです。

東青 地域整備部 晴山 直秋



青森県について勉強し、日々先輩方の背中を見て、吸収・成長していきたいと思っています。よろしくおねがい致します。

中南 地域整備部 佐藤 想



仕事を通して、県職員としても人としても成長していけるように頑張っていきます。これからどうぞよろしくおねがいします！

三八 地域整備部 馬渡 雪乃

【新採用備考】今年度河川砂防系に所属になった新採用者は、河川砂防課所属職員2名、各地域整備部所属職員7名、今年では最多の計9名になります。ニューフェースの紹介は本号、次号の2回にわけてご紹介させていただきます。

土砂災害に関するお問い合わせは下記まで

青森県河川砂防課	017-734-9670	西北地域県民局 地域整備部	0173-35-2105
東青地域県民局 地域整備部	017-728-0200	上北地域県民局 地域整備部	0176-23-4311
中南地域県民局 地域整備部	0172-34-1283	下北地域県民局 地域整備部	0175-22-1231
三八地域県民局 地域整備部	0178-27-5151	鯨ヶ沢道路河川事業所	0173-72-3135

(または、お住まいの市町村の防災・建設担当課まで)

編集・発行 青森県河川砂防課

〒030-8570 青森市長島1-1-1 担当：砂防グループ TEL017-734-9670 / FAX017-734-8191
河川砂防課ホームページ：http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/kasensabo/
e-mail：kasensabo@pref.aomori.lg.jp

第34号 砂防トピックス 青森

青森県河川砂防課 編集・発行(平成29年6月)

～ 総合的な土砂災害対策の推進に向けて(新任挨拶) ～

この4月より、県土整備部 河川砂防課長に着任しました笹です。今後の砂防行政について微力ながら精一杯努めて参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

さて、近年、全国的に頻発している集中豪雨、いわゆるゲリラ豪雨など、これまで経験したことのないような気象現象により、尊い人命や貴重な財産が失われています。昨年8月の台風10号は、観測史上初めて太平洋側から東北地方へ直接上陸し、岩手県を中心に甚大な被害をもたらした。青森県においても、河川の氾濫や土砂災害が多数発生しました。

このような中、本県の土砂災害危険箇所の整備率は、約32.5%(H28年度末)と低く、今後も効率且つ効果的な土砂災害ハード対策が必要な状況にあります。また本県では土砂法基礎調査による土砂災害警戒区域等の指定が平成22年度に完了し、現在は2巡回調査に取り組んでいるところです。

今後も、ハード・ソフト一体となった総合的な土砂災害対策を、市町村と連携しながら推進することとしています。

6月は「土砂災害防止月間」です！

6月は「土砂災害防止月間」に定められています。

本県では、土砂災害に関する知識を深めるため、例年「土砂災害防止講演会」を開催しており、今年は6月30日に開催を予定しています。その他、広報誌への掲載や職員によるラジオ番組への生出演も予定しており、広く県民に情報発信することとしています。

土砂災害防止月間以外にも、川の防災と土砂災害に対する知識の習得、及び防災意識の向上を図る目的で、小学生を対象とした「川の防災安全教室」を平成26年度より開催しています。「川の防災安全教室」では土砂災害の種類や発生メカニズム、それらに対する具体的な対策を、模型や映像を用いて分かり易く説明し、「自分たちが住む地域ではどこが危険か」等、地域の実状を具体的に知ってもらう取組を進めており、今年度は南部町の名久井小学校で開催予定です。



H28年度の土砂災害防止講演会開催状況



「川の防災安全教室」中泊町立小泊小学校



河川砂防課長 笹 洋一

青森県砂防関係技術指針の改定

本県では「砂防技術指針」、「急傾斜地対策技術指針」、「地すべり対策技術指針」の3つの指針があります。急傾斜地対策技術指針と地すべり対策技術指針については、昭和55年版と非常に古く、砂防技術指針についても平成12年版と16年経過していました。さらに平成28年4月には砂防基本計画策定指針（土石流・流木対策編）と土石流・流木対策設計技術指針の改訂があったことから、これらを契機として最新の技術的知見に基づき、砂防関係事業における調査から施工や事務手続き等が適正に実施されるように青森県砂防関係技術指針の改定作業を進め、平成29年5月に完成しました。

今後は、砂防関係施設の適切かつ円滑な計画・設計等が出来るよう努めていきます。



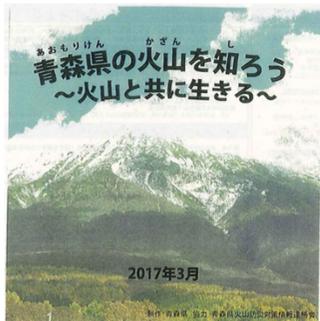
作業部会の状況

新 砂防技術・急傾斜地対策技術・地すべり 指針

火山噴火防災普及啓発体制整備事業 ~火山教育 DVDの作成~

平成28年7月の活動火山対策特別措置法の改正により、市町村の責務として避難計画の策定及び周知が義務付けられました。今後、関係市町村では、火山防災マップを作成し、避難計画の周知を図ることになります。

近年、県内における火山活動はほとんど無く、水害や津波などに比べて、県民の火山に対する防災意識が低い状態にあるため、より確実に周知を図る体制の構築が必要になってきます。このような中、「県民の火山に対する防災意識の向上を図ること」を目的に、県民や市町村火山防災担当者へ、県内の火山に対しての基礎知識や防災対策についての普及・啓発活動を行うため、火山教育DVDを作成しました。今後、火山防災協議会を通じて、幅広く且つ効果的な市町村の周知体制が構築されるように活動してきます。



作成した火山教育 DVD



DVD 抜粋

完成した砂防関係施設の紹介

平成28年度は、土石流危険渓流の上山形沢（黒石市）、押付沢（六ヶ所村）において砂防堰堤が完成し、急傾斜地崩壊危険区域の小峠区域（八戸市）、長崎区域（黒石市）、雷電林1号区域（平内町）が概成しました。

上山形沢は、平成22年4月より火山砂防事業に着手し、約7年の年月を経て平成29年3月に竣工しました。これに伴い本県では、黒石市役所において事業完了報告会を開催し、人家18戸の保全はもとより市指定避難所への避難路（国道102号、市道湯温板留通線）が確保されたこと等の事業効果を報告しました。また、事業の竣工と効果についてはポスター掲示のほか、広報誌にも掲載していただきました。



上山形沢砂防堰堤(黒石市)



事業完了報告会

広報「くろいし」

青森県砂防関係施設長寿命化計画の策定

本県では、平成26年度から継続的に若手職員からなる「作業部会」、上席職員からなる「検討会」により砂防関係施設長寿命化計画の検討を進めています。平成28年度は青森県砂防関係施設長寿命化計画（維持修繕編）及び青森県砂防関係情報システム長寿命化計画を策定しました。また、健全度B~C施設について職員による定期巡視を試行し、これまで作成した「青森県砂防関係施設点検マニュアル」の適用性と評価された健全度の妥当性を現地確認しました。

今後、緊急改築が必要な県内約270の砂防関係施設について長寿命化計画と事業計画を策定し、適正な施設管理をもって、県民の安全・安心な生活に寄与していくこととしています。



作業部会の実施状況



職員による定期巡視